

長久手市行政評価票

事業番号	19	事業の名称	地域共生ステーション事業		担当部署	部	課						
						くらし文化部	たつせがある課						
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(2)地域住民が交流する自律的なまちをつくる	施策の進め方	(2)コミュニティ活動拠点の整備	フラッグ	F1「つながり」～人ひとりに役割と居場所があるまち～						
						フラッグ項目	(21)地域共生ステーションの整備						
事業の概要	地域住民・住民団体・事業者・市職員が気軽に集まり、語り、地域のための様々な取り組みを行うための拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。 現在先行して整備した西小学校区共生ステーションでは、地域の課題を市民自らが見出し、その課題の解決の糸口となるプログラムを実施します。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	【瀬戸市】 地域交流センター 運営主体:地域力推進協議会(指定管理者) 【高浜市】 ふれあいプラザ 運営主体:まちづくり協議会(指定管理者・管理委託)							
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算		
事業の対象(だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	10,699	5,975	10,879	10,879	11,564	
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	小学校区ごとに地域共生ステーションを整備し、地域組織による運営を通して、地域の課題を地域住民自らを考え地域で取り組むことができるようになる。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
					受益者負担額								

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
										H26目標値	H26予算			
① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	市民	4月～7月～10月～1月～	小学校区ごとの地域の状況に応じた地域共生ステーションづくりを主体的に進めることができるようになる。	北小校区3回:60人 南小校区4回:72人 市が洞校区3回:24人 上郷地区1回:6人	ワークショップ参加者数	346 162 360	人	北小校区5回:100人 南小校区5回:100人 市が洞校区5回:100人 上郷地区3回:60人	5 61 40	5 61	ワークショップ消耗品費:60千円 ワークショップ食糧費:1千円	A 維持 維持	各小学校区の地域共生ステーションの整備に向け、目標値に近い、ワークショップの開催を行い、一部の部会では、市民が主体的な運営を行えるようになってきた。前年度実績に比べ平成26年度実績が減少したのは、北小学校区において平成25年度は、ステーションで行ってみたいことの企画をし、平成26年度は実際に企画を実施する機会を増やしたため、実施に際し、参加者は延べ608人の参加があった。	
② 地域共生ステーション運営事業	市民	4月～7月～10月～1月～	地域の課題を地域住民自らが考え地域で取り組む環境を整える。	33プログラム団体 285回実施	地域課題の解決につながるプログラム実施数	9 285 24	回	市民提案型プログラムの実施 月2回×12か月=24回	10,694 10,818 11,524	5,970 10,818	人件費:嘱託員1,734千円、臨時職員3,014千円 管理費:需用費1,362千円、役務費196千円、委託料350千円 施設賃借料:4,162千円	A 拡充 増加	地域住民が主体となって、子育て、生きがいの、ケア等のテーマで地域課題解決のプログラムを目標値以上に実施できた。	
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H27以降新規に実施する事務事業	